

分野	主要な道路の整備			事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)			
市町村名	千曲市	ふりがな 箇所名	しよ おおまちおみ ちくません (主)大町麻績インター千曲線		おおびら 扇平	事業年度 (完了年度は見込み)	年度~	年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=820m W=5.5(7.0)m				H23年度末事業進捗率	0%			
	H24年度以降残実施内容	同上				本工事費等ベース	0%			
	H24年度実施内容	-				用地補償費ベース	0%			
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残				
	事業費計(千円)	400,000	0	0	0	400,000				
財源内訳	国庫支出金	220,000	0	0	0	220,000				
	その他									
	県債	126,000	0	0	0	126,000				
	一般財源	54,000	0	0	0	54,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点		
	必要性 (30)	計画交通量	10,000台/日以上		1,500台以上~10,000台/日未満	1,500台未満	B	0		
		代替道路	唯一の道路である		代替となる道路がある			3		
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある		駅やインターチェンジが20km以上にある	駅やインターチェンジに通じる路線でない			5	
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する	山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない			7	
			観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない				3	
		各事業特有の必要性(安全の確保)	5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)		5.5m以上6.5m未満(幅員)	6.5m以上(幅員)			4	
			自動車と自転車・歩行者との分離を図る		歩道はあるが不十分であるものを再整備	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない			0	
	小計						22			
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)		県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)	該当なし	B	4		
		設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ現実性が高い		環境・景観配慮がされているが現実性が低い	環境・景観配慮をしていない		2		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	特別な位置づけはない		3		
		小計							9	
	効率性 (15)	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上		B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	B/C(3便益)1.0未満	A	3		
		事業効果の早期発現(H24以降残事業年数)	事業年数 5年未満		事業年数 5年~10年未満	事業年数 10年以上		3		
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	コスト縮減はしていない		7		
		小計							13	
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	B	6		
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所又は騒音・振動箇所が緩和する		渋滞箇所又は騒音・振動箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する	渋滞対策又は騒音・振動対策ではない		0		
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)		医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に関係ない道路			7	
	小計						13			
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い		市町村からの要望	特に要望がない	A	7		
事業情報の共有		関係者以外に広く周知		関係者中心に周知	特に周知していない	5				
住民参加の状況		住民が計画策定に直接参加		住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない	4				
小計						16				
費用対効果(B/C)		1.7		評価の合計		B	73			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は千曲市上山田地区と長野自動車道麻績インター、筑北地方を結ぶ重要路線である。平成17年に坂上トンネルが開通し交通事情は向上し、その後ネックとなる箇所は道路改良により整備されたが、当該区間は最後に残った幅員狭小、急カーブ箇所である。大型車が通過する際、すれ違いが困難であり、この路線の利便性向上のためにも整備が急がれる。								
	地域からの要望経緯	千曲市より毎年要望があがる。また、当路線の期成同盟会からも毎年要望があがる(H21年11月9日)。								
	事業説明等の経緯	H22年2月18日に地元説明会を実施し、早期完成を要望された。								
	環境・景観への配慮項目	構造物を極力なくす。								
	他事業・プロジェクトとの関連	大町麻績方面から国道18号(坂城更埴)バイパスへのアクセス強化。								
特記事項	特になし。									
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	効率性の評価レベルは高い。今後計画熟度を高め、事業化を検討したい。			政策評価課意見	拡幅改良の必要性は認められる。					